

平成 28 年度 事業 報告

公益財団法人 びわ湖ホール

1 事業 概要

「プロデュースオペラ」をはじめ、専属声楽アンサンブルを活用した自主制作事業を中心に、音楽、歌劇、演劇、舞踊、古典芸能等の公演や、リハーサル見学会、学校との連携事業、地域協働公演など舞台芸術の普及活動を実施するとともに、専属声楽アンサンブルの演奏活動を行った。また、広報営業活動や友の会運営を通じて顧客の拡大に努めるとともに、ホール、練習室等の貸館業務および施設の管理運営等を行った。

2 事業 実績

(1) 自主 事業

ア 平成28年度自主事業

滋賀の魅力国内外に発信するとともに、世代を超えて誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来館されるホールを目指し、特色ある施設機能を生かして、国内外の劇場との共同制作による「プロデュースオペラ」をはじめ、オペラ、コンサート、バレエ、ダンス、演劇、古典芸能等の多彩なジャンルで国内外の優れた公演を開催した。

また、びわ湖ホールがより身近なホールとして親しまれるよう、音楽祭「ラ・フォル・ジュルネびわ湖」、 「びわ湖大津秋の音楽祭」を開催したほか、ロビーコンサートの毎月実施、自主制作オペラの開催に併せたリハーサル見学会などに多数の来場があった。オペラ初心者にも楽しんでいただける「オペラへの招待」のほか、県教育委員会等との連携事業「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」ホールの子事業等を実施し、次世代を担う青少年が音楽や舞台芸術に触れる機会の提供に努めるとともに、オペラ入門講座・古典芸能講座や公演に関連したプレトーク、ワークショップを開催するなど広く舞台芸術の普及を図るための事業を行った。

さらに、将来のオペラ界を担う人材を育成するため、「オペラ指揮者セミナー」や「ドイツ歌曲研修」を実施した。

区 分		事業数	公演数	入場者数(人)
自主 公演	大ホール	11	21	24,727
	中ホール	16	31	17,157
	小ホール	8	21	5,376
	その他	1(再掲)	12	2,133
	計	35	85	49,393
普及事業		29	170	53,250
共催等		24	60	30,101
計		88	315	132,744

イ 平成 29 年度以降自主事業準備

平成 29 年度以降の自主事業を円滑に実施するため調査交渉を進めるとともに、平成 29 年度に開催する自主事業公演の事前準備を行った。

ウ 専属声楽アンサンブル運営

びわ湖ホールの創造活動の核として、びわ湖ホール声楽アンサンブルが「オペラへの招待」、「沼尻竜典オペラセレクション」のソリストや合唱を担うとともに、定期公演をはじめ、各種自主事業等に出演した。また、県教育委員会等と連携し、「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」ホールの子事業や小中学校の体育館等でコンサートを行う学校巡回公演等を行うとともに、地域のホールとの協働公演を実施した。さらに、各地で依頼公演として各種のコンサートを行った。

エ ネットワークの形成

県公立文化施設協議会の会長館として、館長会議を開催したほか、びわ湖舞台芸術スタッフセミナーとしてアートマネジメント研修などを実施し、県内公立文化施設のネットワーク形成に努めた。

(2) 広報マーケティング

ア 広報営業

びわ湖ホールからの情報発信とチケットの販売促進を図るため、公演チケット情報「Stage」や舞台芸術情報誌「湖響」の発行をはじめ、パブリシティ活動、ホームページや新聞 5 紙への寄稿（1 紙は 9 月まで）、びわ湖ホール声楽アンサンブルが出演する歌番組の制作・放映等による公演情報の提供のほか、新聞・雑誌・電波等による広告など幅広い広報活動を行うとともに、協賛支援やスポンサーの確保、貸館についての営業活動を行った。

イ チケット販売

組織販売に力を入れるなど、チケットの効果的な販売活動を行うとともに、インターネットによるチケットの予約購入、クレジットでの決済、コンビニエンスストアでのチケットの受取など利便性を高め、顧客の拡大に努めた。また、コアなファン向けに平成 27 年度に設定した S S 席を継続するとともに、U30 席（30 歳以下料金）、U24 席（24 歳以下料金）を設定し、青少年が本物の舞台芸術に触れる機会を増やすことに努めた。

ウ 施設利用促進

顧客法人等への営業活動により新規顧客の開拓や既利用者の継続的利用など施設の利用促進に努めた。

エ 友の会運営

顧客の拡大・定着を図り、チケット販売等を促進するため、友の会一般会員、特別会員およびサポート会員を募集し、情報の提供とチケットの優先販売を行った。また、友の会会員価格を設定するなど会員向けサービスの向上に努めた。

会 員 数（平成 29 年 3 月末現在）

一般会員 3,045 人（クレジット会員 1,460 人、非クレジット会員 1,585 人）

サポート会員 260 者 277 口

特別会員 113 者 139 口

オ 人と人とのネットワークづくり

(7) 劇場サポーター運営

人のネットワークによる観客創造を目的に、第 19 期から第 21 期までの劇場サポーター 21 人の研修を行うとともに、サポーター活動の実践を通じ舞台芸術の普及に努めた。また、第 22 期サポーターの募集・選考を行った。

(1) シアターメイツ

青少年の舞台芸術への関心を高めるため、6歳以上18歳以下の青少年を対象にシアターメイツ会員を募集し、ワークショップや稽古見学会を実施した。

(ウ) 舞台芸術情報サロン・館内見学ツアー等

誰もが気軽に舞台芸術に関する情報に触れられるよう、舞台芸術情報サロンを運営し、各種サービスの提供を行うとともに、多くの人びわ湖ホールへの親しみを持つことを目的に館内見学ツアー（まるっとステージツアー）を実施した。

カ びわ湖ホール舞台芸術基金

舞台芸術の創造と発展の支援の受け皿である基金の周知を図るとともに《ニーベルングの指環》4部作への寄付者には特典を用意するなど、寄付獲得に努めた。また、オンライン寄付システムの運用、税額控除の優遇を受けられる法人証明の取得など寄付しやすい環境づくりに努めた。

(3) 貸 館 事 業

利用者の立場に立ったきめの細かい対応を徹底し、リピーターの確保を含め貸館利用の促進に努めた。

区 分	貸館利用件数	入 場 者 数(人)
大 ホ ー ル	80	101,401
中 ホ ー ル	40	19,332
小 ホ ー ル	102	13,045
計	222	133,778

(4) 管 理 運 営

指定管理者として、建物・設備の良好な維持管理にあたりとともに、効率的な管理を行い経費の節減を図った。

また、各ホールのほかりハーサル室、練習室、研修室、駐車場等が有効かつ安全に利用されるよう努めた。なお、駐車場の平成28年度の総利用台数は、68,685台であった。